

一上総一宮(外房線) / 上総湊、君津(内房線)、蘇我、品川形状中=横断ライン(レール+枕木方向)の吊革形状、吊革形状=扉面切に後から設置された吊革の形状

東京、大宮総合車セー

★205系京葉線、10両編成(110km/h対応増圧) ↓弱冷房車シール貼付位置、上=扉部、右=戸袋部

- ▼床下機器モハ204
- ①PHMK+CMK
- ②MG起動
- ③AVR
- ④電源誘導接触器

編成番号	モハ										編成番号	新製日	その他
	クハ	モハ	モハ	サハ	モハ	モハ	モハ	モハ	モハ	クハ			
1	108	290	290	176	291	291	177	292	292	108	1	1989-11-21川重	
2	109	293	293	178	294	294	179	295	295	109	2	1989-11-25川重	
3	110	296	296	180	297	297	181	298	298	110	3	1989-12-11川重	
4	111	299	299	182	300	300	183	301	301	111	4	1989-12-8川重	
5	112	302	302	184	303	303	185	304	304	112	5	1989-12-15川重	
6	113	305	305	186	306	306	187	307	307	113	6	1989-12-19川重	
7	114	308	308	188	309	309	189	310	310	114	7	1989-12-26川重	模型プロトタイプ車 (10-404.405)
8	115	311	311	190	312	312	191	313	313	115	8	1990-1-10川重	
9	116	314	314	192	315	315	193	316	316	116	9	1990-1-18川重	2006-12-4に出場回送確認
10	117	317	317	194	318	318	195	319	319	117	10	1990-1-23川重	

クハ91、モハ93、サハ92以前
クハ92、モハ94、サハ93以降
モハ145以降はHS52A
①~③は③=先頭車連結器上部にある穴です。

転属/廃車日
廃車は廃車になった時点
転属日付は転属先での日付となります。
区別が絡む日付は、検査種別を優先し元号
新製日を含むその他日付は西暦としています。

床下機器
パンタ/空調(11-10M)
←11-110M
全検
要検

床下機器
パンタ/空調(14-50M)
←17-60M
全検
要検

床下機器
パンタ/空調(11-120M)
←18-20M
全検
要検

床下機器
パンタ/空調(12-10M)
←18-5TK
全検
要検

床下機器
パンタ/空調(12-60M)
←2005-10-25確保時
全検
要検

床下機器
パンタ/空調(12-10M)
←18-8TK
全検
要検

床下機器
パンタ/空調(12-50M)
←18-11TK
全検
要検

床下機器
パンタ/空調(12-60M)
←18-12TK
全検
要検

床下機器
パンタ/空調(12-50M)
←18-11TK
全検
要検

床下機器
パンタ/空調(12-50M)
←18-11TK
全検
要検

床下機器
パンタ/空調(12-50M)
←18-11TK
全検
要検

床下機器
パンタ/空調(12-50M)
←18-11TK
全検
要検

床下機器
パンタ/空調(12-50M)
←18-11TK
全検
要検

床下機器
パンタ/空調(12-50M)
←18-11TK
全検
要検

床下機器
パンタ/空調(12-50M)
←18-11TK
全検
要検

床下機器
パンタ/空調(12-50M)
←18-11TK
全検
要検

床下機器
パンタ/空調(12-50M)
←18-11TK
全検
要検

床下機器
パンタ/空調(12-50M)
←18-11TK
全検
要検

床下機器
パンタ/空調(12-50M)
←18-11TK
全検
要検

床下機器
パンタ/空調(12-50M)
←18-11TK
全検
要検

床下機器
パンタ/空調(12-50M)
←18-11TK
全検
要検

床下機器
パンタ/空調(12-50M)
←18-11TK
全検
要検

床下機器
パンタ/空調(12-50M)
←18-11TK
全検
要検

Table with 11 columns (118, 320, 196, 321, 321, 197, 322, 322, 118) and 11 rows (G2S, G2S/L, 13-60M, 19-80M, etc.)

11 1990-1-30川重
床下機器
パンタ/空調
←17-3確認時
全検
要検
全検
要検

Table with 11 columns (119, 323, 323, 198, 324, 324, 199, 325, 325, 119) and 11 rows (G2M, G2M/L, 13-70M, 19-90M, etc.)

12 1990-2-8川重
床下機器
パンタ/空調
全検
要検
全検
要検

★205系京葉線、10両編成(51~69運用限定)

Summary table with columns for car numbers (クハ, モハ, etc.), equipment (P Sn, ATS-P), and manufacturing dates (編成番号, 新製日, etc.)

Table with 11 columns (21, 276, 276, 218, 368, 368, 219, 277, 277, 21) and 11 rows (89-10-24, 89-10-24, 89-10-24, 90-9-11, etc.)

21 1989-10-24川重
床下機器
パンタ/空調(13-80M)
←2005-10-25確認時
全検
要検
全検
要検

Table with 11 columns (22, 31, 31, 21, 32, 32, 22, 33, 33, 11) and 11 rows (G, G/L, 10-70Y, 13-60Y, etc.)

22 1985-8-27日立
床下機器
パンタ/空調(13-60Y)
←2005-10-25確認時
全検
要検
全検
要検

Table with 11 columns (23, 43, 43, 29, 44, 44, 30, 45, 45, 15) and 11 rows (G/L, G/L, 10-100Y, 13-100Y, etc.)

23 1985-9-10川重
床下機器
パンタ/空調(13-100Y)
←17-60M
全検
要検
全検
要検

Table with 11 columns (24, 1, 1, 2, 2, 2, 3, 3, 1) and 11 rows (G/L, G/L, 11-70Y, 18-10TK, etc.)

24 1985-1-31東急
床下機器
パンタ/空調(11-70Y)
←2005-10-25確認時
←18-10TK
全検
要検
全検
要検

Table with 11 columns (25, 4, 4, 3, 5, 5, 4, 6, 6, 2) and 11 rows (G/L, G/L, 11-70Y, 18-10TK, etc.)

25 1985-2-24日立
床下機器
パンタ/空調(11-60Y)
トアロック▲▼確認
全検
要検
全検
要検

Table with 11 columns (26, 7, 7, 5, 8, 8, 6, 9, 9, 3) and 11 rows (G/L, G/L, 11-100Y, 19-1TK, etc.)

26 1985-2-25川重
床下機器
パンタ/空調
←19-1TK
全検
要検
全検
要検

Table with 11 columns (27, 4, 10, 10, 7, 11, 11, 8, 12, 12, 4) and 11 rows (G/L, G/L, 11-90Y, 18-12TK, etc.)

27 1985-3-5日車
床下機器
パンタ/空調
全検
要検
全検
要検

①または③=先頭車連結器上部にある穴数です。
 吊革形状で、黄色枠も部分は2005-10-23確認時。一部編成に吊革の増設を確認
 22~25編成の前扉、側面扉は、バック白、文字黒。1~12と21は、バック黒、文字白も標準タイプ
 ただし、幕はダイヤ改正対応のため、2005-11月以降、順次変更されている一ずでに完了

吊革形状--中:○、扉:△、但し、6F7車は全て△

◆205京葉車、各種改造実績

新製時→青色、1~12編成のみ

新製配置	新製目的	ATS-P設置	先頭車乗務員室 取っ手の向き	新製時→青色、1~12編成のみ		列車番号 表示LED化	列車番号 表示部分穴形状	通風器バンド	灰色枠は検査同時でない可能性大	
				腰掛 モケット変更	列車無線アンテナ 形状と位置				種別幕表示	帯色変更
1	京葉	A	なし	2001/9/7	JR標準/1四方	幕	枠個別	なし	無表示	EB装置取付
2	京葉	A	なし	2002/5/13	JR標準/1四方	幕	枠個別	なし	無表示	帯色変更
3	京葉	A	なし	1999/12/2	JR標準/1四方	幕	枠個別	なし	無表示	
4	京葉	A	なし	2000/1/21	JR標準/1四方	幕	枠個別	有 18-5TK	無表示	
5	京葉	A	なし	2000/2/14	JR標準/1四方	幕	枠個別	なし	無表示	
6	京葉	A	なし	2000/3/23	JR標準/1四方	幕	枠個別	なし	無表示	
7	京葉	A	なし	2000/5/10	JR標準/1四方	幕	枠個別	有 18-8TK	無表示	
8	京葉	A	なし	2000/5/25	JR標準/1四方	幕	枠個別	有	無表示	
9	京葉	A	なし	2000/6/15	JR標準/1四方	幕	枠個別	有 18-12TK	無表示	
10	京葉	A	なし	2001/4/5	JR標準/1四方	幕	枠個別	なし	無表示	
11	京葉	A	なし	2001/6/11	JR標準/1四方	幕	枠個別	なし	無表示	
12	京葉	A	なし	2001/7/6	JR標準/1四方	幕	枠個別	なし	無表示	
21	浦和	B	5-2-150Y 上↑	緑色	JR標準/中央	幕	枠個別	なし	無表示	14-3-150M
22	山手	C	14-7-310Y 下↓	緑色	山手形/1四方	山手時代済	枠個別	なし	なし	14-7-300Y
23	山手	D	14-8-220M 上↑	緑色	山手形/1四方	山手時代済	枠個別	(有 17-60M)	なし	14-8-210M
24	山手	D	17-9-200M 下↓	緑色	山手形/1四方	山手時代済	枠個別	有	なし	17-9-210M
25	山手	D	17-9-14TK 下↓	緑色	山手形/1四方	山手時代済	枠個別	有	なし	17-9-15TK
26	山手	D	17-10-250M 下↓	緑色	山手形/1四方	山手時代済	枠個別	有	なし	17-10-24TK
27	山手	D	17-11-11TK 上↑	緑色	山手形/1四方	山手時代済	枠個別	有	なし	17-11-10TK

- A: 63年度3次予算
京葉線本開業用
- B: 63年度3次予算
老朽車取換用
- C: 59年度3次債務
埼京線開業用
- D: 59年度本予算
横浜・武蔵野線増強

- 床下機器メーカー
- M 三菱電機
 - TO 東洋電機製造
 - TS 東芝
 - H 日立
 - F 富士電機

■ATS-P装備

1~12、21は新製時より装備、設定器は運転士座席席上、表示器も運転台に組み込み、三菱製。
 22~27は後付(床下機器・設定器も異なるタイプ)、表示器は別途取付。また三菱製であることも確認済。

■列番表示

山手LED=山手時代に設置のLED表示
 幕=手回しの幕式

■モハ204車番について

車番が太字下線の場合、除湿器D20A型搭載
 そうでない場合、除湿器B20B型(後期型)搭載
 D20A=コンプレッサ起動終了時、重い感じの空気音
 D20B=コンプレッサ起動終了時、軽い空気音
 また、除湿器自体も形状が異なる。

■吊革形状について

扉部分は2005年頃になって順次取付
 現在は完了しているものとみられる。
 吊革形状--中:○、扉:△

■列番表示枠部分

枠長方形 表示部分の枠が長方形
 枠個別 表示部分の枠が1文字分個別表示

■先頭車側面乗務員室扉取っ手の下にある「▼、▲▼」は、ドアコックの表示そのものです。